

Rotary



The Hitoyoshi Rotary

人吉ロータリークラブ

通算3169回
2023年7月28日
第4回例会**Create hope in the world**

世界に希望を生み出そう

2023~2024年度 R | 会長
ゴードン R. マッキナリー

人吉市九日町30・清流山水花 あゆの里 ☎ 2171

例会場

事務局

清流山水花 あゆの里内 ☎ 6665 ☎ 6505

人吉ロータリークラブ
ホームページ

f フェイスブックページ

[E-mail]

hitoyoshi-rc@mocha.ocn.ne.jp

2023~2024年度 人吉ロータリークラブテーマ
コ・クリエーション(共創)復興の希望を生み出そう

本日の例会

国歌斉唱・Rソング斉唱

来訪者紹介

会長の時間

幹事報告

来訪者挨拶

出席率報告・会務報告

寄付カード

第1回クラブ協議会 後半

点 鐘 北 昌二郎 会長

歌 唱 ツグリガー 有村知洋委員

国 歌 「君が代」
R S 「奉仕の理想」

司会・進行 プログラム 竹長一幸副委員長

来訪者紹介

人吉中央ロータリークラブ

会長 岩本 健 様
副会長 梅田 勇 様
幹事 多喜田 友香 様
副幹事 山下 紀之 様

会長の時間

会長 北 昌二郎

皆さんこんにちは、第4回例会残り38回となりました。刻々と最終例会に向けて進んでおりますので、のんびりはしてられません。会長の時間を始めます。

本日は第1回クラブ協議会の後半ということで、対象となる委員会の委員長さんには大変お世話になります。お一人の持ち時間が3分ということでありますので、端的に委員会運営の思いのたけを述べて頂ければと思います。

さて、今年の人吉RCのテーマは「コ・クリエーション(共創)復興の希望を生み出そう」です。

そこで人吉の復興はどのくらい進んでいえるのか気になるところで、私が調べてみました。と言いたいところですが、これは松岡市長に聞くのが早いだろうということで、10月頃に卓話をお願いしましたら、快く引き受けて頂きました。現在秘書課と調整をしていますので、調整出来次第、皆様にご案内できるだろうと思っておりますのでお待ちください。

先週申し上げましたが、私の会長の時間は双方向の会長の時間にしたいということで、質問を投げかけることもあります。先週は浦田パスト会長の所信や時代背景をご紹介いたしました。当時は高速道路の開通や中小企業大学校の決定、そして人吉RC初の大平ガバナーの輩出などとても勉強になりました。率直に先輩方の努力の上に歴史を積み重ね、今の人吉RCがあることを痛感いたしました。そして本日はパスト会長所信シリーズ第2弾といたしまして、堤正博パスト会長の会長時代のご紹介をさせて頂きます。

堤会長は1996年~97年度 平成8年に就任されました。現在のご年齢から致しますと27年前、54歳の会長でありました。幹事は二代目の尾方芳樹さんです。

テーマは「創立40周年を成功させ、未来を築くすばらしい年にしよう」でした。前年の原田年度に



実行委員会が組織されたということが書いてございまして、40周年は実行委員会を中心に式典や記念行事が行われました。この時の実行委員長が伊久美寛志さんです。40周年モニュメントは村山公園のRの時計台ということで、今も残っていますことを誇りに思っています。またその年の10月24日から10月27日バンコクで開催されたアジアゾーン地域大会が開催されたと当時の片岡副会長が報告書を作成されています。副会長と言えば現在は直前会長が副会長をしますが、このときはまだ会長エレクトが副会長をしていました。報告書全部を紹介することはできませんが、片岡先生はさすが素晴らしい報告書を作っておられます。

少しだけ紹介しますと、

「出発の朝3時起床、寝たか寝ないかわからない。4時人吉駅前出発、福岡空港8時30分発、中華航空で台北にて乗り換え1時間の待ち合わせ。二度の機内食にありつけ満足顔の某スーパー社長夫妻。飲み放題のアルコールで、ビール・赤ワイン、白ワイン、日本酒と真っ赤な顔の某酒蔵会社のクラブ会長。行きは良いよの言葉とおおり、会話も弾み、またたく間にバンコク空港に到着。そして夕食はホテルにて

10月25日朝6時30分、隣のベッドには大いびきで有名な某酒蔵会社社長が大の字で就寝中、いびきが出発前から心配で、わが社のヒット商品「耳栓」を枕元に置き缶ビールをひっかけた。しかし心配するまでもなくわたしの方が先に眠り、朝まで全然目が覚めず。今夜もこの手で先に眠った方が勝ちと確信。なぜか相手も耳栓を持参していた。

8時にホテルを出発、午前中観光、午後はアジア地域大会に参加。」

報告書を読み進めるにあたって、このアジアゾーン地域大会は不定期の開催らしく、この年は10年ぶりの開催で、10年前はインドでの開催だったようです。片岡先生曰く今回は多分タイ王国、国王陛下即位50周年祭りを祈念して開催されたいと片岡報告書に記載あり。地域大会に参加され方は詳しくはわかりませんが、某酒蔵会社社長、某スーパー夫妻、某建設会社夫妻、某旅行会社社長、某自動車整備工場の社長夫妻と大勢の方で行かれたのだなと推測するのみです。10月27日は帰国の日、4時半起床、8時30分バンコクを離陸台北で2時間の待ち合わせ人吉到着22時とハードスケジュールの3泊4日の旅ということでした。

また、堤年度の翌年平成9年2月は稲江RCの10周年にも参加されているようです。堤年度の調査をして感じたのは、先輩方は精力的に活動されていました。また家族で盛り上げに協力されていたようです。本当に素晴らしいと思います。その反面、私たちが頑張らんバンねーと気持ちを新たにしたところでした。

今年の北年度は来年の2月稲江ロータリークラブの37周年に参加予定です。浅野国際奉仕委員長に頑張ってくださいとおります。先輩会員はじめ全会員の皆様は「きつかー」とか言わずに、是非若い会員を引っ張って頂き、自ら率先して参加して頂きたいなあと思っております。皆様まだまだ若こうござ

います。思い起こせよ！青春の珍道中。是非ご一緒に昔の話を聞かせて頂き、真の友情を深めたいと思っております。

最後に、堤会長年度で悲願の会員70名を達成されました。それが近年まで70名を維持してきた訳ですが、コロナと水害、人手不足と会社経営も厳しいとは思いますが、今こそ先輩方の力をお借りして、会員70名を復活させたいと思うのは私だけではないと思います。本年9月には人吉ロータリークラブホームカミングデーを計画しています。パスト会長経験者並びに先輩方をお願いですが、訳あって退会された方々に是非お声かけをお願いいたします。多くの方々に参加頂き、ロータリー談義に花を咲かせましょう。9月15日の人吉ロータリークラブホームカミングデーが、3年後の創立70周年に向けて、また会員70名の復活を実現するためのスタート事業と位置づけ、事業を成功させたいと願っています。

今年のテーマは「コ・クリエーション（共創）復興の希望を生み出そう」です。皆様にご協力をお願い致しまして、会長の時間をおわります。ありがとうございました。

幹事報告

幹事 小笠原賢治

《連絡事項》

- ・地区より「シンガポール国際大会」PR動画
- ・「財団室NEWS 2023年8月号」(回覧)
- ・日田RC創立60周年記念式典 再案内(回覧)
- ・(公社)くまもと被害者支援センターより「センターニュース第37号」(回覧)
- ・人吉RC今後の例会予定
- 8/4 納涼家族会 ひまわり亭 例会18:30~
- 8/11 休会
- 8/18 通常例会12:30~ 人吉RC奨学生卓話
- 8/25 膳所ガバナー公式訪問例会

【来訪者挨拶】

人吉中央ロータリークラブ
岩本 健 会長
梅田 勇 副会長
多喜田 友香 幹事
山下 紀之 副幹事



出席率報告

委員長 平田フク

現 会 員 数	47名	出席免除会員数	1名
出席義務会員数	46名	本日の出席率 74.47%	
欠 席 者 数	12名		
出 席 者 数	34名		
免除会員出席数	1名		
		ZOOM(4) 会場(31)	



第1回クラブ協議会 後半

進行 北 昌二郎会長

会務報告

【報 告】

中川貴夫会員

2720地区ガバナーノミニージェジグネイト候補者推薦書を7月24日に地区事務所へ提出いたしましたのでご報告いたします。

【ゴルフ愛好会】

運営委員会 竹長一幸

7月23日(日) チェリーゴルフ人吉コース

北会長杯 第1戦 **優勝 岩下幸司会員**

7月ワンオンチャレンジは 3,700円でした。

【寄付カード】

〈ニコニコ箱委員会〉

- ・人吉中央RC岩本健会長 本日も宜しくお願い申し上げます。第67代北会長の船出をお慶び申し上げます。 0
- ・北会長 人吉中央RCの岩本会長様はじめ執行部の皆様ようこそお越しくございました。歓迎申し上げます。

〈R財団委員会〉

- ・中川会員 人吉中央RC岩本会長、多喜田幹事、梅田次年度会長、山下次年度幹事様 ようこそご来訪いただきありがとうございます。

点 鐘 北 昌二郎 会長

【人吉RC奨学基金委員会】

委員長) 水野虎彦 副) 葉山稔洋

委員) 石蔵尚之 青木一幸 有馬宏昭 鳥井正徳

1. 方 針

地域社会で未来を担う人材育成を怠ると地域の未来はないという青少年奉仕の理念及びロータリーの奉仕の精神に則り、地域社会の教育振興のために設立された人吉RC奨学基金委員会規則に基づき、奨学金の給付を行い、これの管理・運営を適切に行う。

2. 計 画

年間を通して奨学生の募集、高校や奨学生との連携、例会への報告、奨学金の給付など計画的に実行する。

2023年8月例会において奨学生による卓話

2023年11月来年度奨学生候補者推薦書を各校に依頼
人吉高校5名・球磨工業高校3名の推薦書と作文提出依頼する

2024年1月新奨学生候補者推薦書及び作文の受領

2024年2月理事会で新奨学生の決定・例会上で報告

2024年3月各校へ奨学生決定通知書・奨学金振込口座申請書送付

2024年4月新年度奨学金給付式

3. 予 算53,400円

・奨学生認定楯48,400円

・委員会費(予備費)5,000円

【奉仕プロジェクト委員会】

委員長) 北昌二郎 副) 小笠原賢治

委 員) 葉山稔洋 石蔵尚之 新堀純子 有馬宏昭

井手富浩 水野虎彦 竹長一幸 加登住亮

浅野 強 宮原和広 増田隆二

1. 方 針

本年はコロナが第5類に分類され、ロータリーの活動もリミッターを外しても良いような雰囲気になってきた。これまで感染防止対策として、思うような活動が出来なかった分も加えて積極的な委員会活動を望むものである。

2. 計 画

①これまでの活動に加え新たな試みにもチャレンジする。

②チャレンジカップの開催を他団体とのパートナーシップと捉え共同での奉仕を実践する。

③人吉の環境、観光の掘り起こしを次世代の担い手の協力を得ることで、新たな視点での活動を模索する。またアクト及び市内中高生ゴルファーの育成としてゴルフアカデミーの開催する。

- ④ 3年前の豪雨災害に大きな支援を頂いた稲江ロータリーへのお礼を兼ね周年行事への渡航。

【職業奉仕委員会】

委員長) 葉山稔洋 副) 塚本哲也
委員) 中川貴夫 外山博之 浦田繁喜 岡啓嗣郎

1. 方針

ロータリーの歴史を紐解き、時代に合った“職業奉仕”を考え、事業を行う。

2. 計画

- ・優良職員表彰
- ・職場訪問（再開）
- ・会員による職業紹介スピーチ（3分程度）
- ・出前セミナー
- ・社長大学の開催

3. 予算140,000円

- ・優良職員表彰120,000
- ・委員会費5,000
- ・職場訪問10,000
- ・資料代5,000

【社会奉仕委員会】

社会奉仕担当理事 石蔵尚之
委員長) 新堀純子 副) 岡本明德
委員) 延岡研一 上村祐一 大久保勝人
尾上暢浩 中村太郎 山口貴弘

1. 方針

社会活動をとおして、地区だけでなく、他団体とも協力し合い、ロータリーの知名度にも貢献できるよう努めます。

2. 計画

補助金を活用したチャレンジカップ陸上競技大会（11月11日）に第6グループへ協力依頼し、また他団体との共同奉仕活動としてとらえ地域を巻き込んで活動する。

3. 予算5,000円（委員会費）

補助金活用事業（特別会計より）
人吉市暴力追放会議年会費（〃）
人吉球磨総合美展ロータリー賞（〃）
犯罪被害者支援センター賛助会員会費（〃）

【地域発展委員会】

社会奉仕担当理事 石蔵尚之
委員長) 井手富浩 副) 春木 顕
委員) 延岡研一 上村祐一 大久保勝人
尾上暢浩 中村太郎 山口貴弘

1. 方針

豪雨災害・コロナ禍よりの復興途上である人吉球磨地域の継続的な発展のため、特徴的な観光資源（球磨焼酎、夏目友人帳他）を深掘し、その発展に功績のあった個人・団体の表彰とその認知度向上に努める。

2. 計画

- ①10月の「地域社会の経済発展月間」に因み、地域発展功労者表彰を実施する。
- ②方針に則した活動をされている個人、団体より、その認知度向上のための卓話を実施する。
- ③社会奉仕関連委員会事業（チャレンジカップ他）への協力。

3. 予算 90,000円

- ・委員会費10,000
- ・外部卓話10,000
- ・地域発展表彰70,000

【青少年奉仕委員会】

青少年奉仕担当理事 水野虎彦
委員長) 竹長一幸 副) 安達玄一
委員) 本田 節 戸高克彦 松下哲也 平田フク
米田幸司 内藤靖雄 吉野孝司

1. 方針

若い世代のリーダーがリーダーシップのスキルを身につけ、奉仕の価値観を学べるよう、ローターアクト委員会や地域の関係団体と協力し支援する。

2. 計画

- ①人吉市青少年育成市民会議への参加
- ②青少年奉仕月間に外部卓話（5月）
- ③ロータリー青少年指導者養成プログラム（RYLA）への参加を促す。
- ④ローターアクト委員会と協力し、ゴルフアカデミーを開催する。

3. 予算110,000円

- ・委員会費5,000円
- ・外部卓話5,000円
- ・スポーツ支援（ゴルフアカデミー）100,000円

【ローターアクト委員会】

青少年奉仕担当理事 水野虎彦
委員長) 加登住 亮 副) 永尾禎規
委員) 本田 節 戸高克彦 松下哲也 平田フク
米田幸司 内藤靖雄 吉野孝司

1. 方針

ローターアクトクラブは、奉仕活動そのものに目的があるのではなく、奉仕を通じて会員の指導力の開発と市民精神の育成をねらっています。アクトクラブ会員同士や RC 会員との親睦、地域とのかかわりの中での学びの場となるよう活動の支援を行います。また、会員拡大においても同様に支援していきます。

2. 計画

- ①ローターアクトクラブ例会や諸活動への参加・支援
- ②ローターアクトクラブの会員増強支援
- ③その他地区研修会等における支援

3. 予算 25,000円（委員会）

【国際奉仕委員会】

委員長) 浅野 強 副) 岩下幸司
委員) 友永和宏 有村知洋

1. 方針

コロナによって途絶えた国際奉仕、交流の復活元年としたい。

2. 計画

- ・姉妹クラブの台北稲江ロータリークラブ創立37周年記念に訪問する。会長要望の親睦ゴルフについても予定する。
- ・2月の担当卓話は地区委員会にお願いする

3. 予算30,000円（委員会費）

訪問交流費用は別途



【米山記念奨学委員会】

委員長) 宮原和広 副) 鳥井正徳
委員) 堤 正博 愛甲 康 中島博之

1. 方針

米山記念奨学会は、勉学、研究を志して日本に私費留学している外国人留学生に対し、国際理解と親善を深めるために、ロータリアンの寄付を財源とし、奨学金を支給、援助する民間最大の奨学団体です。この制度の主旨を理解いただき、寄付の協力をお願い致します。

2. 計画

- 米山月間（10月）に米山奨学生の招待事業
- 会員1人あたり年間6000円の寄附を実施
（内、2000円は 100万ドル食事から捻出）

3. 予算35,000円

- ・委員会費5,000円
- ・米山奨学生招待事業費30,000円

【R財団委員会】

委員長) 増田隆二 副) 片岡啓一
委員) 青木一幸

1. 方針

- ①寄付を通じてロータリー財団を支援しポリオ撲滅に協力する。
- ②地区補助金を活用した活動（チャレンジカップ等）を支援する。

2. 計画

- ①ロータリー財団への理解を深める。
- ②会員の記念日やお祝い事の寄付を募る。
- ③地区補助金の活用事業を推進する。
グローバル補助金を活用したロータリー財団奨学生のサポートを行う

3. 予算10,000円（委員会）

【ニコニコ箱・出席委員会】

委員長) 平田フク 副) 内藤靖雄
委員) 浦田繁喜 岡啓嗣郎 大久保勝人 吉野孝司

1. 方針

- ①会員、家族、事務所の慶び事、お祝い事を披露し喜びを分かち合い、また、失敗したり迷惑をかけた時はユーモアたっぶりのごめんねをお願いし、楽しい雰囲気を中心掛ける。
- ②今年度のスマイル目標を100万円とする。
- ③無断欠席をなくし出席率の向上をお願いする。

2. 計画

- ①全員スマイルは年7回とする。
新旧理事役員歓送迎会、忘年会、
新年会、 R I 創立記念日、クラブ創立記念日、
賀寿会、最終例会

- ②会員の結婚記念日、誕生祝は各1000円のスマイルをお願いする。
 - ③発表は全員で行う。
 - ④ 100%出席達成者を表彰する。
3. 予算80,000円
- ・委員会費10,000円
 - ・ビジターへの記念品20,000円
 - ・出席率 100%表彰50,000円

【会報委員会】

委員長) 戸高克彦 副) 松下哲也
委員) 増田隆二 友永和宏 渡辺洋文

1. 方針

- ① 例会の活動やイベントを分かりやすく読みやすい会報にする。
- ② デジカメやボイスレコーダーを使い会報づくりをスムーズに行えるようにする。

2. 計画

- ① 例会のプログラムを確認する。
- ② 委員会の例会出席を確認する。
- ③ 卓話者の方へ原稿の提出をお願いする。
- ④ 新入会員の方の紹介を早めに掲載する。

3. 予算327,000円

- ・会報ファイル7,000円
- ・会報印刷320,000円

【講評】

会長 北 昌二郎

協議会前半より話をさせていただきます。

キッチンカー管理運営委員会はクラブにとって欠かせない委員会でございます。無理を言って1年延長して委員会を存続いただいています。

ホームカミングデーは地区内でもやってない事業ではないかなと思います。退会された方にもう一度人吉RCへ顔をだしていただき、友情の再確認をしていただいて、人吉RCの今の活動に興味を示していただければという風に考えている事業ですので、ぜひ成功したいと思っております。親睦委員会宜しく願いいたします。

先ほど、上村委員長の方からありましたように人吉RCのPR動画を作ってくださいとお願いしております。人吉RCを知らない方がいらっしゃることは、本当に存在しないことと一緒になんだったという風に思いますので、YouTubeでもなんでも活用しながら活動を紹介できればという風に考えているところであります。

以上で講評を終わらせていただきます。ありがとうございました。